

日本の野鳥カレンダー2021

撮影者コメント

撮影者のコメントや撮影エピソードを掲載しています。カレンダー写真と一緒に楽しみください。



表紙

中州の菜の花・新緑が、平凡な河川敷のバックをひきたててくれました。この日はすっきりとしたえだにとまってくれました、10カット 心で願いシャッターを切りました。

撮影 * 敷地 富士雄
撮影場所 * 埼玉県 本庄市

モズ

学名 : *Lanius bucephalus*
英名 : Bull-headed Shrike



1月

新雪の降り積もった朝、木々の雪化粧し絶好の撮影日和。早速にカメラを担いで撮影に、どんな鳥が来てくれるか期待しながら待っていると、ツグミがちょうど良いところにとまってくれた。

撮影 * 滝本 光世
撮影場所 * 北海道 札幌市

ツグミ

学名 : *Turdus naumanni*
英名 : Naumann's Thrush



2月

冬の浜辺に、夕日が彩りを加え、波が形作る波紋を柿色に染めはじめた。打ち寄せる波の動きに合わせてながら、一羽のミュビシギが私に近づき、美しい模様が描かれた浜辺を走りはじめた。私は、その姿を追うようにレンズを向けシャッターを切り、柿色の浜を快走するミュビシギの姿を写し止めた。

撮影 * 野口 正裕

撮影場所 * 千葉県 九十九里町

ミュビシギ

学名 : *Calidris alba*

英名 : Sanderling



3月

この日のチョウゲンボウ(雄)は、珍しく眼の前をよく飛んできました。それもそのはず、突然、ライバルの若い雄が現れ、雌を巡ってのバトルが始まったからです。本来、警戒心の強い鳥なのですが、運よく、子孫を賭けた争いに挑んでいたところを撮影させてもらいました。

撮影 * 野口 好博

撮影場所 * 東京都 稲城市

チョウゲンボウ

学名 : *Falco tinnunculus*

英名 : Common Kestrel



4月

毎年、春を告げるように飛来するコマドリですが公園などにも多くやって来ます。しかしそんな場所では人だかりが出来てゆっくりと見るといった状態ではありません。そんな事もあり山間の道を散策しているとコマドリの鳴き声が…… 鳴き声を聞きながら待ち続けること1時間。諦めかけたその時、苔むした道に出てきてくれたそんな一枚です。

撮影 * 今 勝憲

撮影場所 * 岐阜県 養老市

コマドリ

学名 : *Luscinia akahige*

英名 : Japanese Robin



5月

この写真は北信濃の豪雪地帯で撮影しました。5月に入り木々が芽吹き始め山藤が咲いた時期にオオルリと山藤を撮るために何度も同じ場所に通いました。とまる場所と光具合を考慮して夕方に撮影し納得できる写真が撮れました。

撮影 * 小宮山 義光

撮影場所 * 長野県 下水内郡

オオルリ

学名 : *Cyanoptila cyanomelana*

英名 : Blue-and-white Flycatcher



6月

山沿いの道を走っていると、追いかけてこをする2羽の小鳥の姿が目に入った。車を止めてよく見るとキビタキの雄の縄張り争いのようです。邪魔をしないように、横からそっと撮らせてもらいました。

撮影 * 深瀬 伸介

撮影場所 * 京都府 亀岡市

キビタキ

学名 : *Ficedula narcissina*

英名 : Narcissus Flycatcher



7月

まだ真っ暗な夜明け前。シトシと小雨が降っていた。ブラインドに入って、じっとその時を待っていた。トラツグミの不気味な声が聞こえる。待つこと3時間。鳴いた！そして、黄色いカタバミの花の中を、ピョンピョン跳ねながら、やっとヤイロチョウが登場した。激しい胸の高鳴りを感じながら、夢中でシャッターを切った。

撮影 * 松廣 浩二

撮影場所 * 高知県 四万十町

ヤイロチョウ

学名 : *Pitta nympha*

英名 : Fairy Pitta



8月

真夏の沖縄の空と海はどこまでも青い。繁殖にやってくる白いアジサシ類が最も似合う空と海だろう。夢中になって撮影をして、気が付いたらちょっとふらふらになりました。

軽い熱中症になっていたのかもしれませんが、それほど魅力ある撮影地でした。

撮影 * 宮沢 安二郎

撮影場所 * 沖縄県 南城市

エリグロアジサシ

学名 : *Sterna sumatrana*

英名 : Black-naped Tern



9月

秋雨に濡れた田んぼでは、収穫を待つ稲穂をキジが一足先に味見していました。黄金色の稲と畔一面に咲くツユクサの青い花が瑞々しく、見惚れるような光景を前に、静かにシャッターを切り続けました。

撮影 * 鶴見 直也

撮影場所 * 栃木県 大田原市

キジ

学名 : *Phasianus colchicus*

英名 : Common Pheasant



10月

撮影は昨年 2019 年の秋、この年は何年かぶりに樹の実の生りが良く、鳥たちが群がった。紅葉が一段と色濃くなり始めた楓の木にシメの群れが飛来した、はじめは警戒心が強く中々シャッターチャンスが訪れなかったが、やがて狙いのところに降りて来てくれた。

紅葉の時期、天候、光線など恵まれた瞬間との出会いでした。

撮影 * 石橋 孝継

撮影場所 * 北海道 江別市

シメ

学名 : *Coccothraustes coccothraustes*

英名 : Hawfinch



11月

エゾライチョウ数羽が居る情報をもとに2回空振り3回目です。やっと出会えた初撮りのエゾライチョウです。細い木の枝が撓(たわ)みながら乗り、赤い実を捉えようとした時の1枚です。日の出時刻が7時前の薄暗い中、手持ち撮影でしたが撮る事が出来ました。これからも自然を大切に楽しみながら野鳥を撮って行きたいです。

撮影 * 金澤 弘治

撮影場所 * 北海道 苫小牧市

エゾライチョウ

学名: *Tetrastes bonasia*

英名: Hazel Grouse



12月

アオバトは夏のイメージが強い印象ですが、一度は雪の中の背景で撮影したいと思っていました。初冬のころには、南下して行くアオバトが残っていてナナマドの赤い実を食べている話があり、数日後折しも雪の降る中に赤い実を啄むアオバトを見た時は感動的でした。アオバトの緑の体に雪が付き始めたところを狙い、撮影する事に成功しました。

撮影 * 内藤 滋

撮影場所 * 北海道 札幌市

アオバト

学名: *Treron sieboldii*

英名: Japanese Green Pigeon

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

Japanese Society for Preservation of Birds

〒166-0012

東京都杉並区和田 3-54-5 第10 田中ビル 3階

TEL ◇ 03-5378-5691 FAX ◇ 03-5378-5693

HP ◇ <http://www.jspb.org/>

